



第16回 ぼうさいカフェ

住まいの安全強化と6つの備え

今年は1995年の阪神淡路大震災から30年です。

1月17日は「防災とボランティアの日」です。

この災害は都市型災害の典型とされ、今日の活動の起点となっています。

普段の備えが「いのち」を守り、「生き抜く力」になります。

今年もやります!! お茶を飲みながら災害について話しませんか?

今年のテーマは「住まいの安全強化」と「6つの備え」の実践です。

体験コーナーを充実します。知識を「わざ」に変えてください。

日 時: 令和7年1月14日(火)～17日(金)

午前10時から午後4時まで(最終日午後3時30分)

場 所: 座間市役所 1階 市民サロン

6つの備え

出す

ガラ袋
皮手袋

大判厚手
ブルーシート

灯り・情報

食べる

飲む



令和6年1月1日、「能登半島地震」が発生しその後水害により複合災害で多くの被害をもたらしました。

さらに令和6年8月には「南海トラフ巨大地震臨時情報」が出ました。

私たちは「地球にはカレンダーはない」ということを痛感しました。

その瞬間は「自助60%」と言われています。

あなたは、大丈夫ですか?

裏面もみてね

特定非営利活動法人

ZSVN ざま災害ボランティアネットワーク

防災啓発
研修会事業

座間市危機管理課



ぼうさいカフェ特別展示

地震の揺れ体験と初期消火・煙避難体験ができるぞ！！

今年も、座間市消防本部と海老名市の協力で「1日限りの特別体験」ができます。

座間市消防本部からは、「煙避難体験」「初期消火体験」「消防車両展示」を、海老名市からは地震の揺れが体験ができる「起震車」を派遣して頂きます。

展示日時： 令和7年1月14日(火)9時30分から15時30分

会 場： 座間市役所ふれあい広場（市役所とハーモニーホール座間の間の広場）

- 運転予定時刻は、会場に表示します。暖かな服装でお越しください。
- 雨天の場合は、15日(水)に順延します。



生き残らなければ何も始まらない

第13回 座間市いっせい防災行動訓練 (シェイクアウト プラス 1 2025 in ZAMA)

令和7年1月23日（木）午前11時から1分間

座間市の「いっせい防災行動訓練」は、事前参加登録制の発災対応訓練です。市民、行政、事業所などが日ごろから災害に関心を持ち、発災時対応行動ができるかを数字で「見える化」するところに特徴があります。

平日ですので学校そして、職場が活動している中での地震発生を想定し訓練をします。

激しい揺れから身を守った後、市民の方は、地域の自主防災会など、それぞれ災害発生後の初動対応訓練(安否確認・いっとき避難場所集合訓練・防災備蓄用品点検など)に取り組んでください。事業所の方はBCP計画等に沿った対応行動を行ってください。

座間市は、「座間市地域防災計画」に基づいて部署別災害発災対応訓練をはじめ、災害時の総合調整機関となる「災害対策本部開設・運営訓練」を予定しています。

NPO ゾマ災害ボランティアネットワークは、会員間の安否確認と参集訓練を実施します。

大規模な災害が起きても、いのちを守り、生き延びなければ訓練を重ねてきた「発災対応力」・「支援力」並びに「受援力」の発揮はできません。いざというときには訓練で体験したこと以上の力を発揮することはできないと言われています。

NPO ゾマ災害ボランティアネットワークは令和5年度内閣府防災功労者防災担当大臣表彰を受賞しました。



ShakeOut訓練
事前参加登録QRコード